



SDGs：2015年9月の国連サミットで採択された、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
代表取締役社長

菊地 哲氏

Satoshi Kikuchi

伊藤忠テクノソリューションズ

日経SDGsフォーラム 会員企業

明日を変えるITの可能性に挑み、SDGsの達成に貢献する

多彩なITソリューションの提供で社会を支える伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)は、SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえたマテリアリティ(重要課題)に取り組むことで、社会課題の解決と事業の拡大の双方を実現していく。

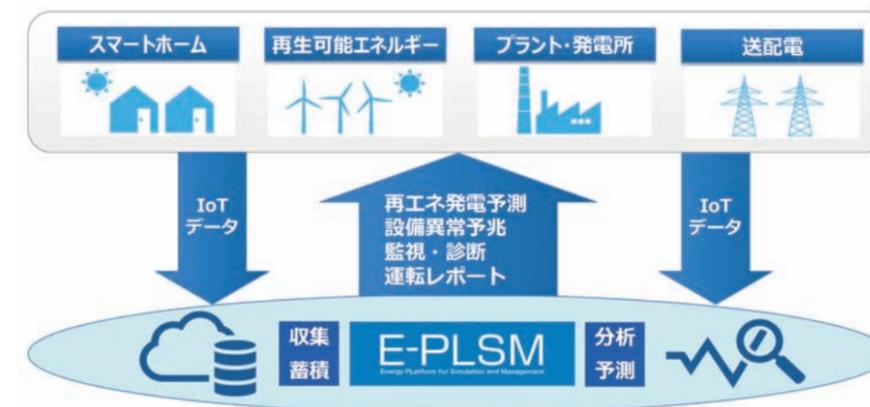
CTCが3つのマテリアリティ(「信頼できるITサービスの提供」「明日を変える人材の創出」「ITを通じた豊かで持続可能な社会の実現」)を特定したのは2016年3月のこと。その前年の2015年4月には「明日を変えるITの可能性に挑み、夢のある豊かな社会の実現に貢献する」という「使命」を含む企業理念を定めた。

「当社は1972年に伊藤忠グループの事業会社として創立されたため、「創業者の信条」という意味での社訓や社是はありません。ですが、2012年に社長

としてCTCにきてから、覚えやすい企業理念を作らなければと考えていました。そこで浮かんできたのが、伊藤忠商事の創業者・伊藤忠兵衛の言葉「利真於勤」(利は勤る(つとむる)に於いて真なり)や、有名な「三方よし」に代表される近江商人の哲学です。「利真於勤」は、社会のために尽くした結果として得られる利益の尊さを伝えています。これらの考え方には現代にも通じるものがあると感じ、その思いを企業理念に込めました」と菊地哲社長は語る。

同じ2015年の9月には、国連サミツ

クラウド型IoT*基盤 [E-PLSM]



*IoT：モノのインターネット

トでSDGsが採択された。先に挙げた3つのマテリアリティはSDGsを踏まえており、本業を通じて社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に向けた活動を展開している。

SDGsは、社員一人ひとりに「自分たちの業務はこの社会課題の解決に貢献している」という意識も醸成する。「社員が自らの仕事とSDGsとのリンクを理解すれば、会社としてSDGsの目標達成に貢献していく力にもなるでしょう」と菊地社長は期待を込めている。

エネルギー需給の安定化を通じて地球規模のエネルギー課題に挑む

社会課題の解決につながる事業として、CTCではすでにいくつかのユニークな事業を開始している。中でも注目の事業が、2011年に提供を始めたクラウド型のエネルギー利用管理IoTサービス[E-PLSM(エプリズム)]だ。

[E-PLSM]は発電設備や送配電設備などのセンサーからデータを収集して各設備を監視し、かつそのデータを分

析してエネルギーの利用を統合的に管理するサービス。風力発電所、太陽光発電所の気象情報と設備のセンサー情報から発電出力を予測する機能も備えている。風力や太陽光は発電量が気象状況に大きく左右されるため、電力の安定供給にかかるリスクを抱えている。そこで再生可能エネルギーの発電出力を正確に予測し、電力の需給調整に役立てようというのがCTCの考えだ。同サービスには設備の故障前に異常の予兆を検知する機能も備える。

同サービスは、SDGsの目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に該当するほか、目標11「住み続けられるまちづくりを」や目標13「気候変動に具体的な対策を」につながるとCTCでは考えている。

面白い事業はほかにもある。2018

年7月、フードロス削減のためのシェアリングプラットフォームを提供するコークッキング社に出資し、協業を開始。こちらは目標12「つくる責任 つかう責任」に通じる。

未来の新ビジネス創出でサステナブルな社会を支える

2017年4月には、最先端のITに取り組み、新規ビジネスの事業化までを行う組織として「未来技術研究所」を新設した。設立の経緯について菊地社長は次のように語る。

「新ビジネス創出に向け、最先端技術を開発しようという思いからイノベティブな動きをする組織が社内の様々な部門に生まれていました。この動きを加速させるため、組織をまとめ、新たに未来技術研究所として発足させました」

同研究所の取り組みの一つに、オープンイノベーションの専用スペース「DEJIMA(デジマ)」がある。2017年10月、東京都品川区東五反田に開設された同施設は社会に寄与する未来のアイデア創出を支援し、スタートアップのための場として機能させていく。

CTCは今後もITを軸にSDGsへの貢献を果たし、サステナブルな社会を支えていくと、菊地社長は力強く語った。

▶

菊地 哲 (さくち さとし)
1952年生まれ。東京大学法学部卒業後、1976年4月に伊藤忠商事入社、エネルギー総括部に配属される。イギリス6年、オマーン4年の海外駐在を経験し、業務部長、常務取締役、常務執行役員、生活資材・化学品カンパニープレジデントなどを経て、2012年6月から伊藤忠テクノソリューションズ代表取締役社長を務める。



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
〒100-6080 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル
URL <http://www.ctc-g.co.jp/>